

## 「自分らしい」をベースにしたリーダーシップがあつてこそ、 世界に通用するリーダーになれる。—Ari Horie

Women's Startup Lab Global Innovative Leadership Program in Silicon Valley

### ● ごあいさつ

時代の速度が上がり、ビジネスという意味でもプレッシャーが高くなるばかりの昨今。新しいカタチのリーダーシップが求められています。感性・個性が軸になることによって、これから時代をリードしていくための創造性に満ちた、自分らしいリーダーシップの在り方が実現出来るのです。イノベティブで、クリエイティブなプログラムをぜひご一緒にしましょう。————— 堀江愛利 (Women's Startup Lab ファウンダー / CEO)

### ● プログラムを受ける方へ

世界に認められ、シリコンバレーでも地位のあるアクセラレータプログラム（女性起業家養成コース）の運営を行う、起業家:堀江愛利 (Ari Horie) による、日本人向けの特別プログラムが開催されます。日米各メディアでも取り上げられるほど活躍する彼女が、女性学と心理学をベースに開発した「Global Innovative Leadership Program」は、リーダーとして活躍する人材の「基盤づくり」や「更なる成長」をサポートする非常に本質的な取り組みです。使用言語は、英語と日本語。テクニカルなノウハウではなく、自分自身との対話を通じた「自分らしいリーダーシップ」の発見をサポートします。Women's Startup Lab (WSLab) のアドバイザーボードからも講師が立ち、いくつかの特別講義もあります。参加者は、選考に残った少人数のメンバーと共に、ここシリコンバレーで、セルフ・イノベーションを経験することでしょう。



## 変革を起こしたいと本気で考える方との出会い。 そして、卒業生達のポジティブな変化を楽しみにしています。

Women's Startup Lab Global Innovative Leadership Program in Silicon Valley

● 応募対象者：こんな方に、ぜひご参加いただきたいプログラムです

- ・ 起業家、企業内でイノベーション担当者の方
- ・ 人材育成担当の人事の方
- ・ 自らの振り返りで何かを模索、変化起こしたいゲームチェンジャーの方
- ・ イノベーションと言っても何をしたいかわからないので、シリコンバレーに行ってイノベーションの思考回路を形成したい方
- ・ 自らの考え方の軸を持って、物事を判断できる人になりたい方
- ・ 自らの感じている『壁』を打ち破りたい方
- ・ 自分らしいリーダーシップを築きたい方
- ・ 現在のキャリアあるいは事業から一歩引いて一度立ち止まり、ビジョンを明確にして大きく伸ばしたい方
- ・ 自らが持っているまだ気づいていないマインドセットを身に付けたい方
- ・ 起業したけれど、どのように成長させて行くか悩んでいる方
- ・ 起業者のみに限らず、自分で何かを成し遂げたいと思っている方
- ・ 企業内でそれなりのポジションになったが、この先の「壁」や充足感の不足を感じている方
- ・ キャリアの中頃となり、今一度自分を見つめ直したい方
- ・ キャリアの成功と家族とのバランスの中で、立ち止まっている方
- ・ グローバルな視野で自らのポテンシャルを大きく伸ばしたい方
- ・ 深い信頼関係で結ばれた仲間を得たい方
- ・ 現状に不安、疑問を感じていて、打開策を模索している方



## 何故そんなに結果が出るのか？

それには細やかに計算された背景があるからなのです。

Women's Startup Lab Global Innovative Leadership Program in Silicon Valley

### ● FAQ(よくあるご質問) 1

#### 何故、4日間でそんなに結果が出るのか？

- ・面接で選ばれた、意識の高い人たちを集めていることが重要なポイント
- ・少人数であること
- ・教えるクラスではなく、自らが掘り下げるクラスであるから
- ・受け身ではなく、やる気のある人だけで構成されたメンバーで行うから
- ・自分にそれなりの投資をして、覚悟をして参加するプログラムであるから
- ・グループとの深い関係に身を置いて自らが答えを見つけるため、腹落ちするものがあるから

#### 何故シリコンバレーまで行く価値があるのか？

- ・苦しい感じの合宿ではなく、心が晴れるような明るいインスピレーションが生まれるようデザインされた環境の中での密な合宿生活は、発想を切り替えるために効果的だから
- ・普段の生活から離れ、どっぷりと深いところまで考えられる環境が必要だから
- ・先端に行く環境に身を置くことで刺激を受けインスパイアされるものがあるから
- ・英語で表現することによって出てくる自分の側面を知ることが出来るから
- ・プログラムの中で「日本人らしさ」を取りのぞくことが出来るから
- ・日本文化から少し距離を置くことによって、自分の声がより聞こえやすくなるため
- ・アメリカだから出来る表現と対応があるから

#### 4日間のプログラムで得られる価値は？

- ・いろいろなディスカッションにより深く掘れる自分のブラインドスポットの発見
- ・深い信頼関係から生まれる発見



## 人それぞれに得るものが違うのは、 おのおのが自分を発見していくからです。

Women's Startup Lab Global Innovative Leadership Program in Silicon Valley

### ● FAQ(よくあるご質問) 2

#### 合宿であることの意味は？

- ・自分自身の課題に集中できる時間と空間を自分に与えるため
- ・インスピレーションの湧く空間の中で、必要に応じて程よく自分1人で考える時間を取るため

#### 何故、女性だけ、男性だけのプログラムなのか？

- ・男性の重点を置き自分に入っていけるポイントと、女性が自分を見つめ直すポイントが違うため
- ・男女分けた方が自然体でいられて葛藤が少なく、安心度も高く、深い話がしやすいため  
(男女のミックスプログラムでもやることはありますが、アプローチが変わります)

#### 他の女性プログラムとの違いは？

- ・リード・インストラクターである堀江愛利は、WSLabを通して常日頃女性課題(=社会問題)について取り組んでおり、社会における女性課題を深く理解した上でのプログラムであるということ
- ・「女性だから、こうなさい」という文脈が一切ないこと
- ・女性の置かれている環境を理解することがカリキュラムに取り入れられていること
- ・女性は犠牲者という視点ではなく「だからあなた達は何ができるのか？」という未来にフォーカスする点

#### 他のリーダーシッププログラムとの違いは？

- ・マインドセットをシフトすることに重点を置くこと
- ・国の文化や、社会や、親などから学んだ自分の価値観を一旦取り払い「ねばならない」と思うことを棚卸しして、いろんな角度から検証し、キープしたいものを取捨選択し、自分の価値観を改めて作る場所
- ・ライフプランを考えられるところ
- ・新しいものを生み出すことや自分を見つけるというのは、こんなにワクワクして楽しいことなのか！という感想が卒業生から多数出ること

#### どうやって参加に踏み切ったのですか？

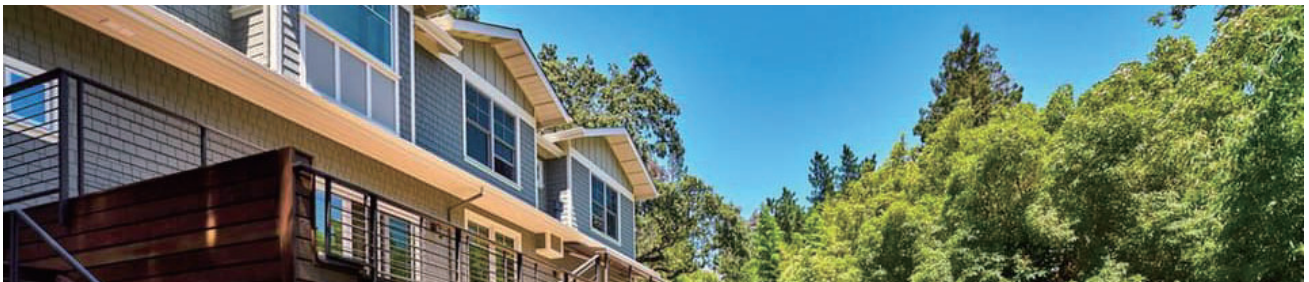
- ・今ここで自分が立ち止まらないと、この先チャンスがないと思ったから(卒業生談)
- ・堀江愛利さんがやっているから(卒業生談)
- ・わたしが本当にしたいって思うことが重要なんじゃないですか？と周囲に言い放った(卒業生談)

## 主催会社

# Women's Startup Lab

スタートアップ・インキュベーターであり、シリコンバレーでも先駆的でユニークな存在

スタートアップ・アクセラレーターは、起業家がアイデアをベースに起こした事業に対して、資金を調達して事業を成長させるために必要なスキルやネットワークをつなげる機関です。多くのアクセラレーターが、投資戦略、アイデアやプロダクトの深化をサポートするのに対し、WSLabではリスクの一番多い時期である、0から1のステージにいる起業家自身をサポートしていきます。より本質を掘り下げ、起業家として育成することが成功への大きな要素だと考えて、独自のプログラムを形成しています。現在、起業家（アントレプレナー）プログラムと共に、企業内起業家（イントレプレナー）に対しても門扉を開いています。毎年世界各国から女性起業家達がここに集っており、現在にいたっては、卒業生は250名（起業家、企業リーダー含む）を超えました（2019年8月現在）。わたし達は、ビジョンをベースに世界を変えていきたいと思っている「変革者」を次々と世に送り出しているのです。



## Lead Instructor：堀江愛利 (Ari Horie) からのメッセージ

### Profile

Women's Startup Lab Founder 兼 CEO。広島県出身。18歳で渡米、カルフォルニア大学を卒業後、IBM、スタートアップでの経験を経て現職。男女が共に活躍できる革新的なビジネス環境を構築することを目標としている。



アントレプレナーの mindset が、いかに重要かを考えたことはありますか？ わたし達はつい、単に面白いビジネスやサービスを生み出すこと、素晴らしいテクノロジーのことを重要視しがちです。しかし「新しいものを生み出す」0から1のプロセスは、「モノ」を創るところだけでは不十分です。それを育て、人を集め、変化をもたらしながら「続ける力を持つリーダー」こそが、新しい市場や新しい革命を起こすのだと、わたしは強く考えています。女性起業家を育てるだけでなく、それをとりまく環境を変えていくためにも、より多くの方に「ゲームチェンジャー」として活躍していただきたいと願っています。そのため、このプログラムは、会社の中でも、起業家でも、「個人の改革をしてみたい」という方を対象にしています。

弊社 WSLab のアドバイザーボードには、世界的に活躍するメンバーが顔を揃えています。彼ら彼女らの専門性にも支えられているこのプログラムを受けることは、「新しいものを生み出す達人」達の、経験と感性を傍受する体験とも言えるでしょう。このプログラムを、本気で「自他の未来を良くしたい！」というやる気のある方々に、シェア出来ればいいなと思っています。

「変革を起こしたい」と真剣に考える女性達、それに共感する男性達との出会いと繋がりをベースに、変化を加速させていきたいです。「Global Innovative Leadership Program」の卒業生こそが、今後のゲームチェンジャーであり、次の時代を担う人。「本気で変革を起こすために、まずは自己改革からスタートしよう」と考える方々との出会いを心から楽しみにしています。

## Global Innovative Leadership Programとは

### ▶ 男女の次世代リーダー育成：

#### アントレプレナー精神をベースに自らの内なる未来のビジョンから、新しいものを生み出す力

イノベーションのメッカであるシリコンバレーを拠点に、多くの起業家や、世界を変えるテクノロジーを生み出してきた著名人達と協力することで、わたし達は独自の起業家育成プログラムをつくりました。世界から集まる何千という起業家達に関わりプログラムを行う中、旧来のリーダーシップ（マネジメント・リーダーシップ）の考え方や、一般に出ている How To の内容は、時代の変化に対応しきれないものだと思い始めました。そして、起業家が持ち得る思考回路やモチベーション、パッションから来る集中力と行動力が「イノベーションを起こす原点」だということに気がついたのです。このプログラムは、起業家しか受けられなかった内容をより多くの人に広げて、「一人一人がセルフ・イノベーションを起こせるように」と始めたものです。わたし達は現在、個人で参加できるものから、アメリカのフォーチュン 100 に名を連ねる、大企業のマネジメント層やイノベーション担当部署のトレーニングまでを行っています。

### ▶ 人生の飛躍は、常にイノベーション。まずは“人”から

イノベーションにはテクノロジーが重要だ、と思われがちですが、それを生み出し、周りを巻き込んで、成功に導く「人」が大変重要な要素です。その“人”を掘り下げ、一人一人の可能性を開くには“教える”のではなく、本人から“引き出す”作業が必要になってきます。目まぐるしく変化する現代において、これからの変化に対応できる人材を育成することは大切です。「その人」=「イノベーター」の感性を研ぎ澄まし、個性ある視点から物事を観ることができる個々の「軸」を見つけることは、イノベーションを起こすための大きな鍵になるのです。このマインドセットこそが次世代リーダーとなる人材には必要でしょう。これは、あなたがこのプログラムで身につける大きな要素のひとつです。参加者には、シリコンバレーの第一線で活躍する、著名な業界人の方々と対談機会もあり、彼らの「できる」可能性を常に問いかける「マインドセット」にも触れていただきます。

### ▶ 自らのビジョンと起業家精神を育む、合宿形式のプログラム

このプログラムが他と異なるのは、日常のパターンから離れ、自分の可能性と向き合う環境の中、合宿形式による集中型のコースであることです。少人数で開催することにより、さらに深く事業や自分自身の転機を模索し、今まで見えなかった壁やそれに伴うリミットを取り除く作業を行い、そして、新しいビジョンづくりへと進みます。多くのプログラムと違い、ただ座って聞いているのではなく、実際に体を動かし、実体験を通してその感覚を強化していきます。ファウンダー/CEO の堀江愛利が、シリコンバレーのリーダーたちと協力して綿密にデザインしたこのプログラムは「Hito House」で行われます。場所は「スタンフォード大学」や世界のトップベンチャーキャピタルが集まるエリア。環境は人を左右する一つの大きな要素です。思考に集中するための環境、ロケーション、サイズ感などすべてを、わたし達はプログラムに影響する重要なファクターとして捉えています。



## プログラム卒業生の声：参加にあたって / 参加後

どんな環境の時に何に困っていて、何を目標にきたか？ 終わった後何を感じたか？ 卒業生の声を集めました。

### Before

- 自分自身のポテンシャルを最大化したいというのが理由です。スタートアップの事業・組織形成にあたって参考となる情報やフレームワークは、探しに行けば色々ヒントを得られるようになってきていると感じています。今取り組んでいるモデルは日本だけではなくグローバル（特にアジア）に届ける価値のあるものだと考えており、事業の難易度が立ちはだかる中で、今後、経営者としての自分の能力・可能性が事業をドライブする上でのボトルネックになるリスクがあり得ると判断して、自分自身の意思決定のレベル・スケールを極大化したく、応募させて頂きました。
- 私は現在新規事業開発の部署に務めており、管理職昇進直前である。会社全体として閉塞感がある中、私は社内イノベーターとして発信をし、周りに良い影響を与えていきたいと思っている。ただし、自分自身の視野がまだまだ狭いこと、また自己の考えの言語化が苦手であること、を自覚している。このプログラムで広い視座そして言語化能力を獲得することができればと期待している。
- 現在は会社員ですが、2年前の出産を機に、もっと日本が子育てしやすい社会になり、特に仕事をしながら子育てをする女性／男性たちが存分に活躍できる状況を作りたいと思うようになり、来年、仲間と起業予定です。これまでは「おもしろい」を仕事にしていたのですが、今回はそれに加え、「死ぬまでに何とかこれを形にしたい」が大きな動機になっています。FBでこのプログラムを知り、自分に刺激を与え、モチベーションをさらに上がりそうな内容にわくわくしています。これまでの職歴で「突破力」「コミュニケーション力」が鍛えられてきましたが、そこに加え、ビジネススキルを少しずつでもつけていきたいと思って応募しました。
- 私は新しく自分でビジネスを始めようとしています。ただ、自分は何をやりたいのか、何のためにやるのか、自分の人生をどう生きるべきか迷う事が多く、考える機会を持ちたいと思い、このプログラムへの参加を希望しました。
- イノベーション担当とはいえ、「シリコンバレーで何かある」というだけで何かわからないままでしたが、実際に育成プログラムに入ると聞き、どのように自分自身が起業家精神を学びゲームチェンジャーになれるか試してみたいと思い、友人にも進められてプログラムに参加することにしました。

### After

- 自分の本当にやりたい事に気づき、自信を持って未来図を描けるようになった。起業家の時間感覚を持てた。自分に残された時間への危機感を感じた。
- 日常生活から離れて自分の Vision/Mission、進むべき方向性を考えるだけの時間にし、それをきちんと言語化したかったのでその目的に合致していたと思います。また元来の自分をさらけ出してもそれを受け入れてもらえるという土壌とその上で今後も続くネットワークというのは私にとって大きな財産になったと思います。
- とにかく、バラエティにとんだバックグラウンドをもった少人数が集められている中で、自分にない価値と時間を共有することで、自分を定義し、自分にも自分以外の存在にも信頼を築く経験ができたことが一番ためになりました。
- 自分がやりたいことが明確になった。誰かと比較して勝てそうだとか、収益性を考えるビジネスモデルではなく、本当の自分のビジョンが明確になりました。そして自分が心から求めている、でも満たされていない部分にも気づくことができました。「How が思いつかないくらいが丁度いい」と言われたことが最もために、楽になりました。
- 自分のコアがわかったこと。確信、すっきり、理解を得て、自身を持って次のステップに疑問なく邁進できるようになりました。4日間でこれからの人生が変わる、と Day1 に Ari さんがおっしゃっていましたが、本当にそうだった！と思います。また、帰国してから、同じような毎日はずなのに、焦らなくなりました。もっと Stable に自分の行動を見つめられていることに驚いています。
- 自分の中で勝手に作り上げていた数多くの「べき」「しなければならない」から解放されて、のびのびと仕事ができるようになったこと。また、その結果、社員にも効果が始め「Full Potential」が発揮し易い環境づくりを実現してきていること。

## プログラム・スケジュールサンプル

4日間の流れはこんなイメージです。実際は集まったメンバーの進行に合わせて調整されます。

### DAY 1

- 9:00-9:30 チェックイン
- 9:45-10:00 House Orientation
- 10:00 セッションスタート
- 12:00 Lunch
- 13:00- セッションスタート
- 18:00 買い出し（糖分補給のスイーツや、日用品等、各自必要なものがあれば）  
※Uber または Lyft を参加者の間で手配
- 19:00 Dinner

### DAY 2

- 7:00-9:00 Breakfast  
※キッチンに簡単な朝食と飲み物を用意します。各自で朝食
- 9:00- セッションスタート
- 10:30- Lori Mackenzie Session (Advisor Session 1)  
<https://gender.stanford.edu/people/lori-nishiura-mackenzie>
- 12:00 Over Lunch Session
- 13:00 - セッションスタート
- 18:30 Dinner - Welcome Night

### DAY 3

- 7:00- 9:00 Breakfast
- 9:00- セッションスタート
- 12:00 Lunch
- 13:00- セッションスタート
- 13:30- Chris Yeh Session (Advisor Session 2) -Video Call  
<http://www.wasabiventures.com/team/person/chris-yeh>
- 18:30 Dinner (Casual & Quick) Spend group or alone time

### DAY 4

- 7:00-9:00 Breakfast
- 9:00- セッションスタート
- 12:00 Lunch
- 13:30- Group Session
- 16:00- Pitch Presentation
- 17:30 Graduation Ceremony (プログラム終了)
- 18:30 Go Out ! (皆さんで出掛けましょう!)

### DAY 5 (CHECK OUT DAY)

- 7:00-9:00 Breakfast
- 11:00 Check out





## プログラム・アウトライン

応募にまつわる詳細をまとめました。

### 開催時期

2021年3月5~8日(男性) / 2021年3月12~15日(女性)

※次回以降の日程は、その時点での合格者の日程を合わせて後日決定します。

### プログラムについて

- ・4日間のシリコンバレーでの合宿プログラムです
- ・4日間の日程に土日が含まれる場合は、土日もプログラムが開催されます。
- ・男性プログラムと女性プログラムに分けて行います

※企業様からのご依頼の場合、男女のミックスプログラム可能です

### プログラム参加費・宿泊費

企業派遣：10,000 USドル(税込)、個人参加：4,500 USドル(税込) (\$10,000 から奨学金として \$5,500 を特別優遇)

- ・シリコンバレーにおけるプログラム参加費
- ・4泊5日間分の宿泊費(リトリートハウスでの合宿形式・2~3人部屋)
- ・食費

※現地までの航空券は各自手配のこと(現地での移動費も個人負担)

### 対象者

男女ともに対象：事業を拡大したい起業家・経営者/変化をリードしていきたいNGO・NPOの幹部、各領域で活躍するリーダー/イノベーションが不可欠と感じている企業のリーダー層/中小企業で新しいやり方を考えている、事業拡大のために幹部の成長が必要だと考えている方

### 言語

日本語・英語

※ある程度、英語の聞き取りが出来るようにトレーニングしておいてください。

### 開催地

シリコンバレー Menlo Park, CA United States (サン・フランシスコ国際空港、サンノゼ国際空港から車で40分)

### 開催人数

6~12名

※審査後の人数が6名に満たない場合は、催行を中止します。

### 問い合わせ先

mamiko@womenstartuplab.com

### 応募の流れ

面接予約がまだの方は、以下のフォームよりご応募ください。

<https://airtable.com/shrj3vSR1IVZUmjFu>

※応募受領後に先着順でオンライン面接を実施します。Women's Startup Labのプログラム運営メンバーによる審査の上受講の可否をお知らせいたします。面接で合格した方から、順次参加枠を埋めていきます。航空券の手配は、プログラムの「開催決定通知」が届いてから各自行ってください。